

ステアリングリモコン対応キット
(地デジチューナー追加用)
トヨタ／ダイハツ／レクサス／ホンダ
マツダ／スズキ／日産／三菱車対応

取り付け解説書

Gal!eyra

安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

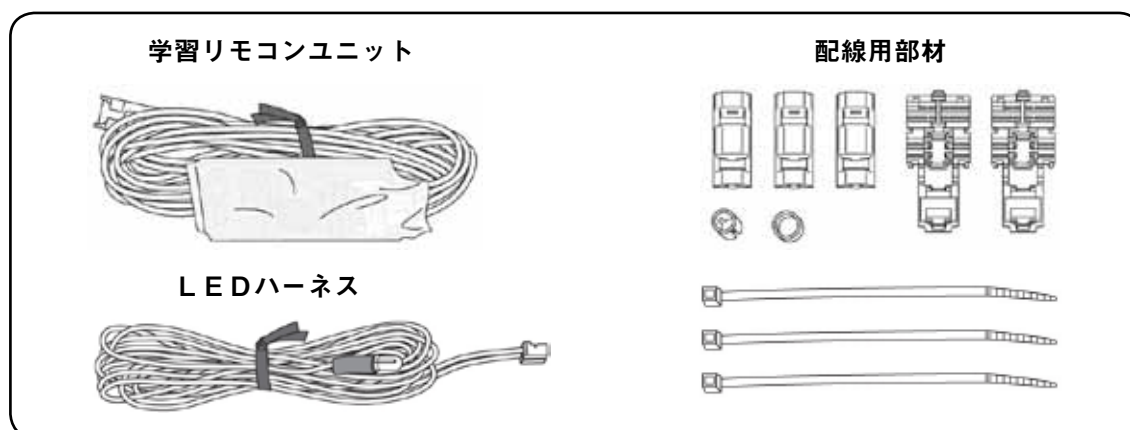
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付けの流れ	6
基本接続の方法	7
トヨタ20極コネクタ図	8
トヨタ26極コネクタ図	9
トヨタ28極コネクタ図	10
マツダ24極コネクタ図	11
スズキ20極コネクタ図	12
日産20極コネクタ図	13
日産10極+6極+16極コネクタ図	14
日産16極コネクタ図	15
ホンダコネクタ表	16
ホンダ車カプラ図	18
切り替えスイッチ接続方法	20
LEDの設置位置は十分ご検討ください	22
設置後の確認	23
設定作業の流れ	24
設定方法	26
トラブルシューティング	30

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 学習リモコンユニット | 1台 |
| 2. LEDハーネス | 1本 |
| 3. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 4. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 5. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは5本の配線と、1つの赤外線LEDハーネス接続用コネクタが出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）です。添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|---|------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V ACC 電源 |
| 黄 | (+) 基準電圧出力 |
| 桃 | (+) ステアリングスイッチ入力 |
| 茶 | (-) 未使用 |

※ LEDハーネス接続用コネクタには付属のLEDハーネスを接続します。

動作について

◇本製品は次の2つのモードがあります。

- ・学習（設定）モード

ユニットは、地デジチューナーの赤外線リモコンを解析・記憶します。

取り付け後、最初に行う必要があります

- ・通常使用モード

ステアリングスイッチのシークプラス又はシークマイナスボタンを押すと、赤外線LED部からリモコン信号を送信します。これにより後付け地デジチューナーのチャンネルを変更することができます。

MEMO

- ステアリングスイッチはシークプラスと、シークマイナスの2ボタンのみに地デジチューナーのリモコンコードを記憶できます。
- 純正ナビが地デジチューナーを映していない場合でも、ステアリングスイッチのシークプラス、シークマイナスを押すと地デジチューナーのチャンネルは変更されます。

取り付けできる車両

- ・純正ナビが取り付けられており、ステアリングスイッチが利用できる状態であること。
- ・後付け地デジチューナーに赤外線リモコンが付属していること。

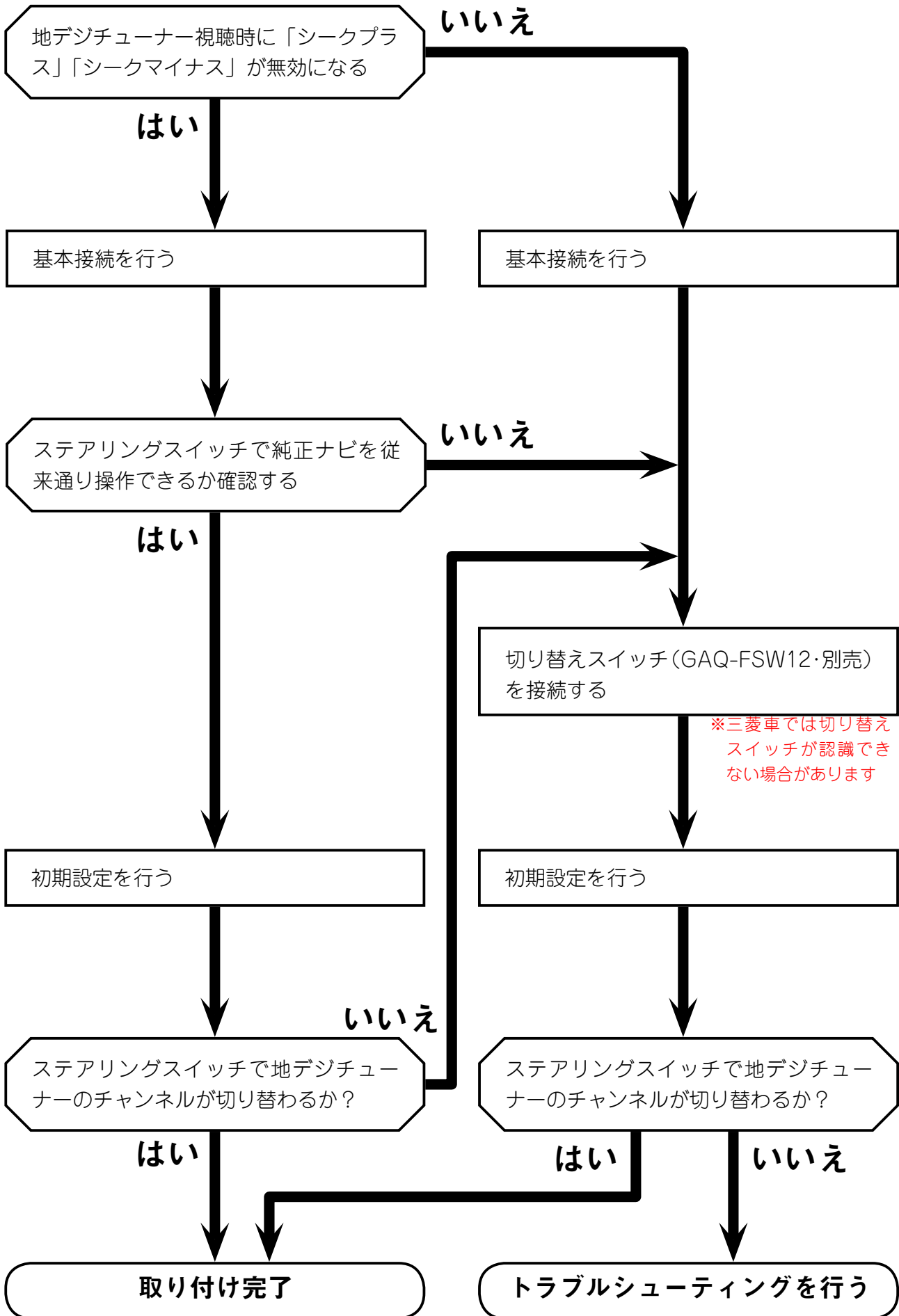
取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

また、赤外線発光LED部はお子様の手の届かない場所に取り付けてください。万が一お子様が口にくわえたりした場合、感電する危険があります。

本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付けの流れ



基本接続の方法

本製品の配線の接続は純正ナビ裏で行います。

1. 純正ナビ周りのパネルを取り外す

まずは純正ナビの外周のパネルを取り外します。通常ははめ込みだけで固定されているので、手前に引くと外れますが車種によってはネジ止めされている場合もあります。外し方が判らない場合は無理をせずにディーラー様へお尋ねください。

2. 純正ナビを取り外す

純正ナビを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

3. 本ユニットを接続する

次ページにあるコネクタ図のピン位置へ配線を接続します。

4. 純正ナビの動作を確認する

本ユニットを接続した状態でも、従来通り純正ナビをステアリングスイッチで操作できることを確認しておきます。

※従来通り操作できない場合は、切り替えスイッチ（GAQ-FSW12・別売り）を取り付けます。

5. 初期設定を行う

後付け地デジチューナーのリモコンを使用して初期設定を行います。

※初期設定時は、ユニット本体にあるセンサーにリモコン信号を送信する必要がありますので、本体を収納してしまう前に行ってください。

※ステアリングスイッチを押していないのに学習モードになってしまう場合や、ステアリングスイッチのボタンが誤認識されてしまう場合は、切り替えスイッチ（GAQ-FSW12・別売）を取り付けます。

MEMO

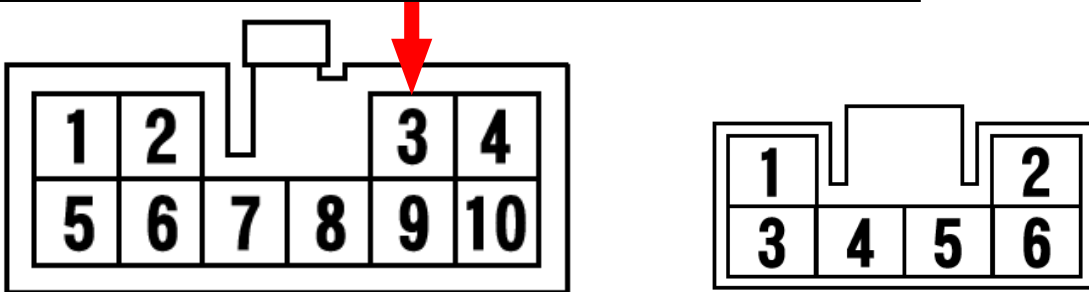
※コネクタのピン位置をよく確認して接続を行ってください。

※添付のワンタッチコネクタ以外を使用される場合は、適合線径をよく確認してください。

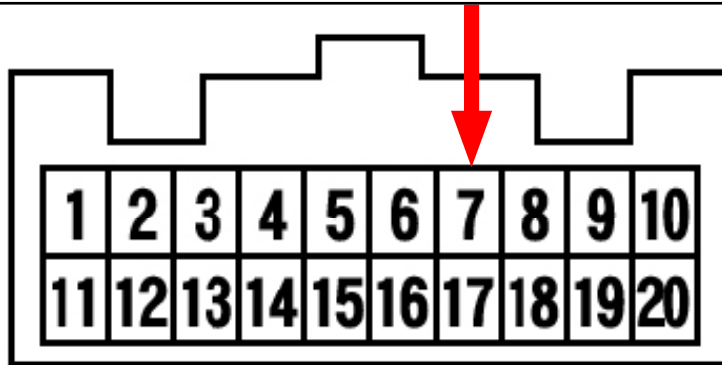
トヨタ / ダイハツ / レクサス 20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタがトヨタ標準の10極+6極+20極の場合は下記のように接続します。

10極コネクタ 3番 アクセサリ電源 赤を接続



20極コネクタ 7番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続



※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

ユニットの線色と接続先

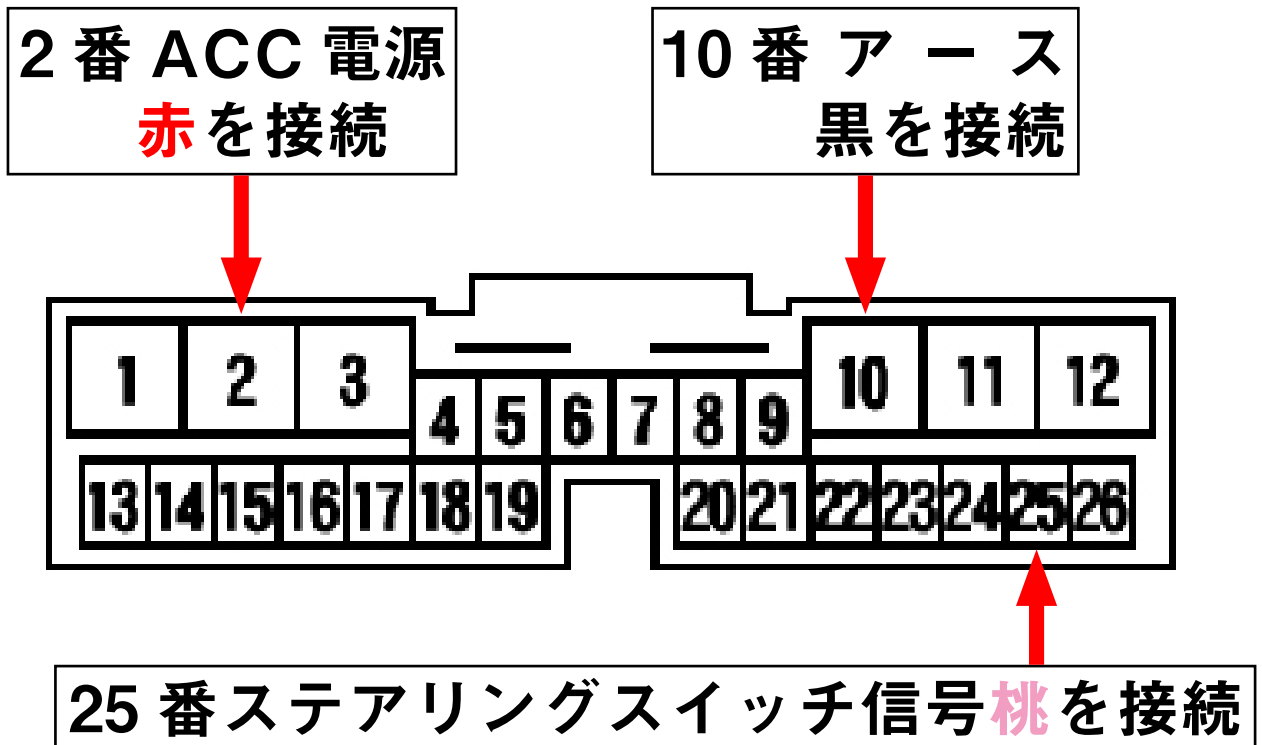
- 茶 未 接 続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
- 黄 未 接 続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
- 桃 20極コネクタの7番へ接続する（上図参照）
- 赤 10極コネクタの3番へ接続する（上図参照）
- 黒 ボデーアース（確実にアースされる場所）へ接続する

MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源に接続しないでください。
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

トヨタ26極コネクタピン配置図

■26極コネクタ採用車（純正ナビ装着車など）では、下記の様に接続します



※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

ALCONの線色と接続先

茶	未	接	続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
黄	未	接	続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
桃	26	極	コネクタの25番へ接続する（上図参照）
赤	26	極	コネクタの2番へ接続する（上図参照）
黒	26	極	コネクタの10番へ接続する（上図参照）

MEMO

※ACC電源線（赤）は常時電源に接続しないでください。

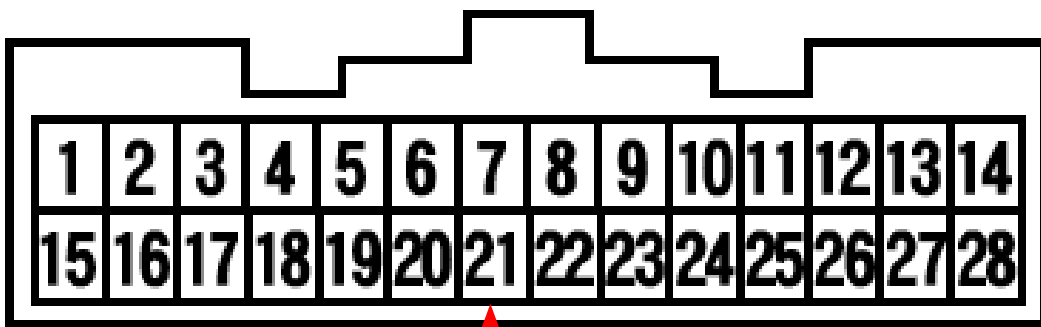
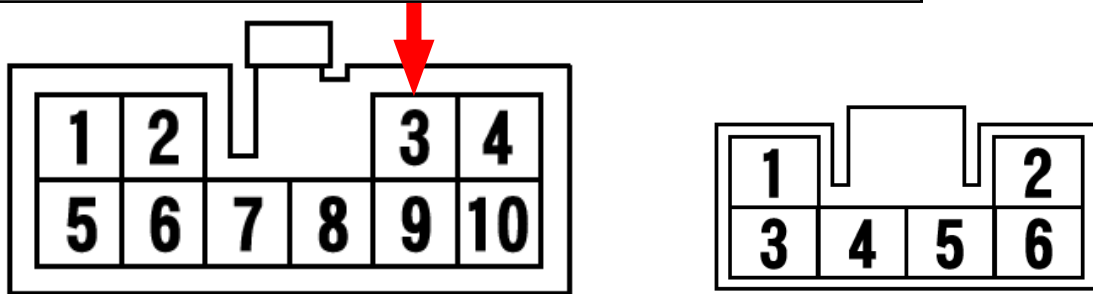
※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

トヨタ 28 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極+6極+28極の場合は下記の様に接続します (120系ラクティス等)。

10 極コネクタ 3 番 アクセサリ電源 赤を接続



28 極コネクタ 21 番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続

※手前側が、コンタクト側 (配線は向こう側) です

ユニットの線色と接続先

- 茶 未 接 続 (ビニルテープ等で絶縁処理してください)
- 黄 未 接 続 (ビニルテープ等で絶縁処理してください)
- 桃 28 極コネクタの 21 番へ接続する (上図参照)
- 赤 10 極コネクタの 3 番へ接続する (上図参照)
- 黒 ボデーアース (確実にアースされる場所) へ接続する

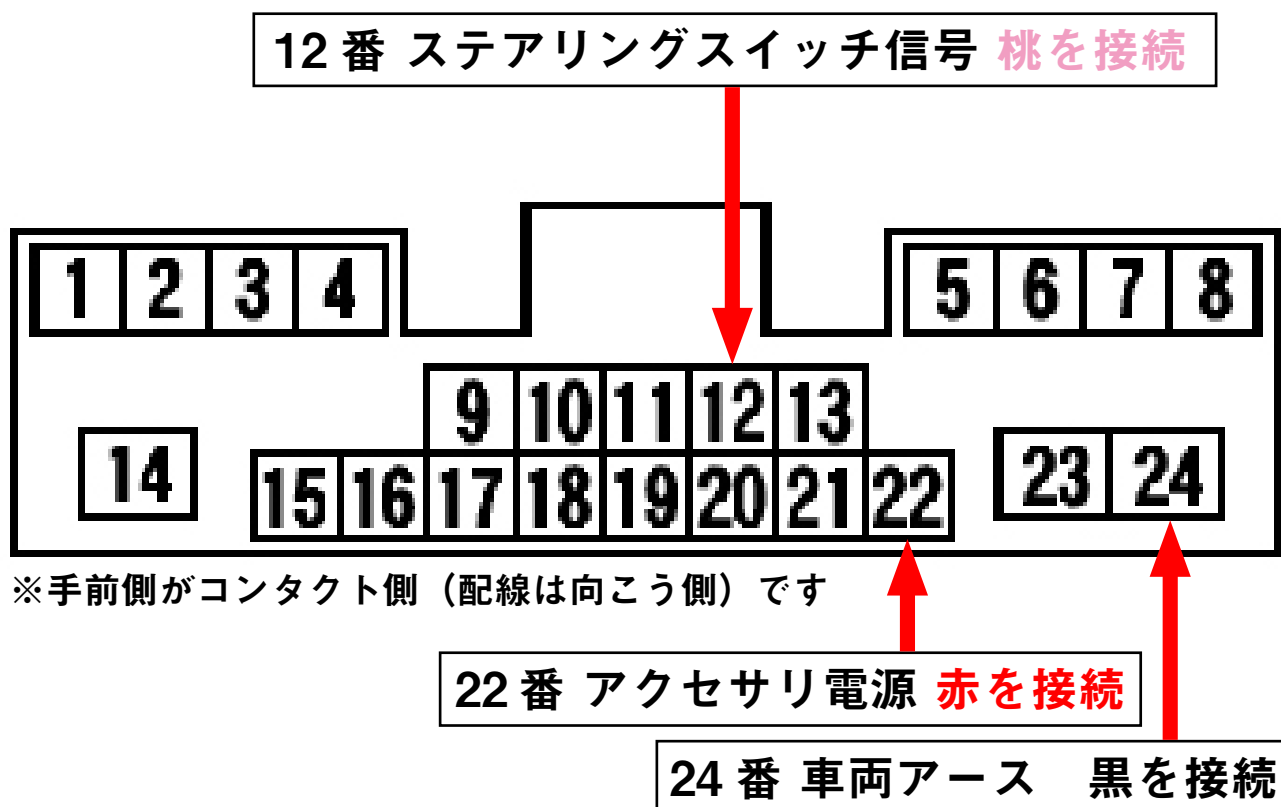
MEMO

- ※ACC電源線 (赤) は常時電源に接続しないでください。
- ※誤作動の原因となりますので、アース線 (黒) の接続は確実に行ってください。
- ※アース線 (黒) をカーナビ/カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ/カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

マツダ車24極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが24極のマツダ車では下記の様に接続します。

オーディオデッキ裏コネクタ (24極)



MEMO

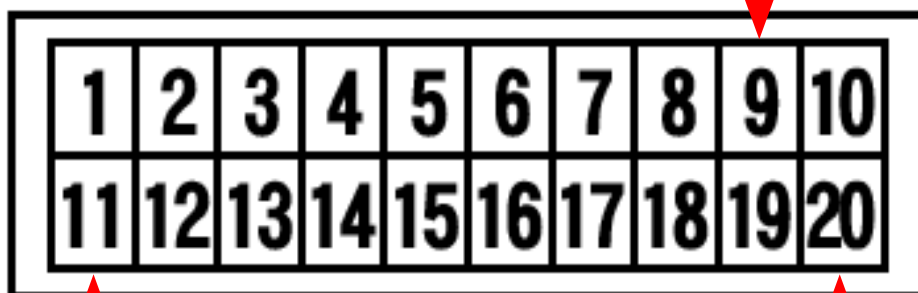
- ※ACC電源線 (赤) は常時電源には接続しないでください。
- ※車両側の黒線が太く付属のワンタッチコネクタが適合しない場合はユニットの黒線をカーナビのステー (金属部分) に共締めしてください
- ※誤作動の原因となりますので、アース線 (黒) の接続は確実に行ってください。
- ※アース線 (黒) をカーナビ/カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ/カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

スズキ車20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが20極のスズキ車では下記の様に接続します。

オーディオデッキ裏コネクタ（20極）

9番 アクセサリ電源 赤を接続



1 1番 車両アース 黒を接続

20番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続

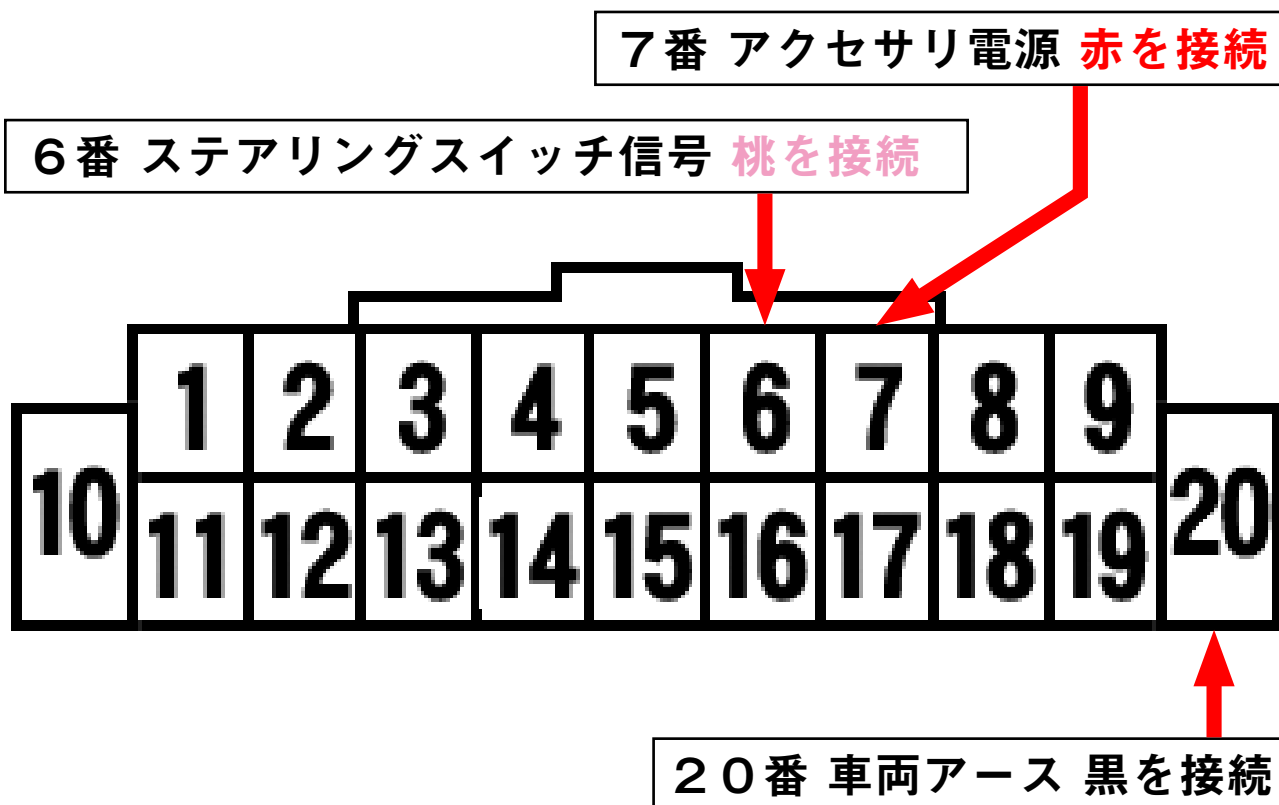
※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源には接続しないでください。
- ※車両側の黒線が太く付属のワンタッチコネクタが適合しない場合はユニットの黒線をカーナビのステー（金属部分）に共締めしてください
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

日産 20 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが20極の日産車では下記の様に接続します。



※手前側が、配線側（差し込み口は向こう側）です

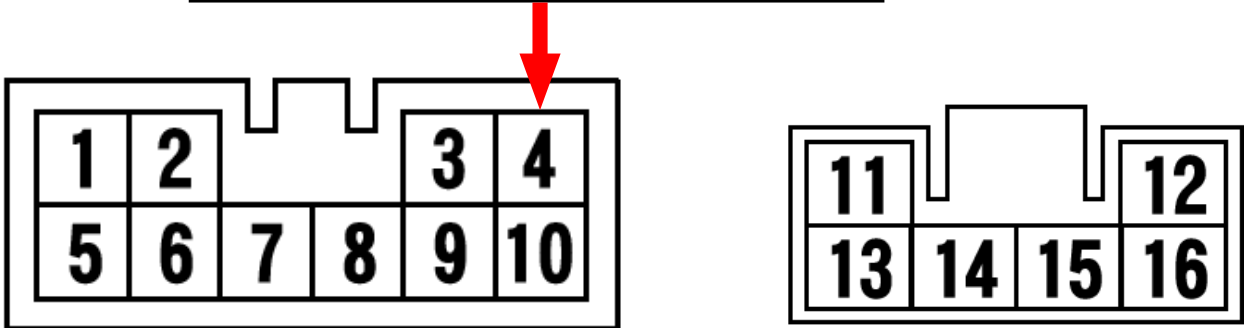
MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源には接続しないでください。
- ※車両側の黒線が太く付属のワンタッチコネクタが適合しない場合はユニットの黒線をカーナビのステー（金属部分）に共締めしてください
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

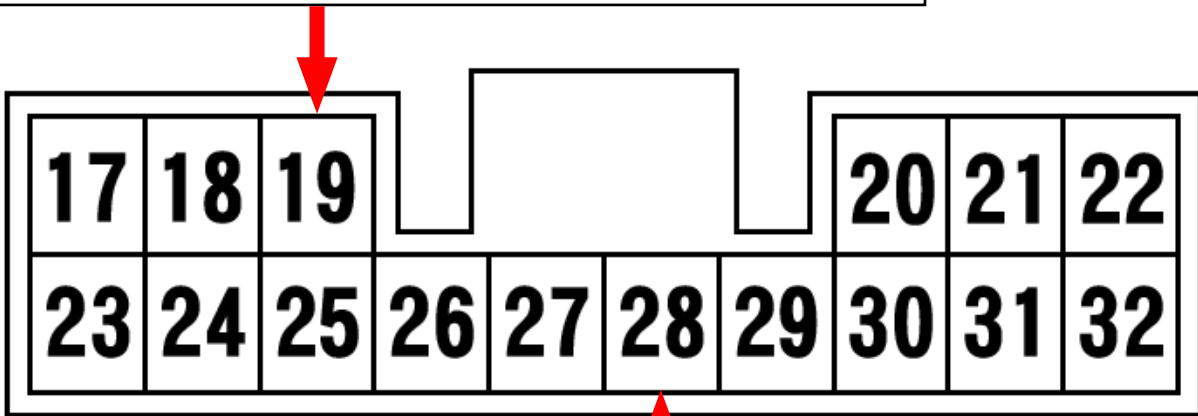
日産10極+6極+16極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極+6極+16極の日産車では下記の様に接続します。

4番 アクセサリ電源 赤を接続



19番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続



28番 車両アース 黒を接続

※手前側が、配線側（差し込み口は向こう側）です

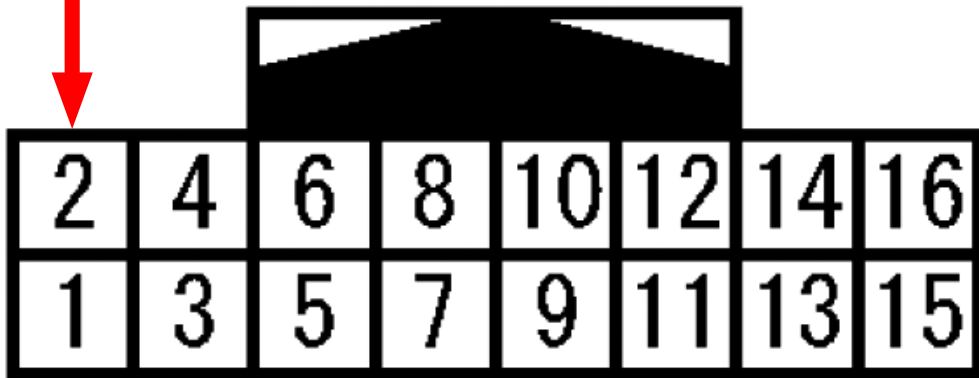
MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源には接続しないでください。
- ※車両側の黒線が太く付属のワンタッチコネクタが適合しない場合はユニットの黒線をカーナビのステー（金属部分）に共締めしてください
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

日産 16 極コネクタピン配置図

■ U31 プレサージュ、Z50 ムラーノ、J31 ティアナでは「エアコン & AV SW」裏にある 16 極コネクタへ配線を接続します。

2 番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続



7 番 アクセサリ電源 赤を接続

13 番 車両アース 黒を接続

※手前側が、配線側（差し込み口は向こう側）です

MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源には接続しないでください。
- ※車両側の黒線が太く付属のワンタッチコネクタが適合しない場合はユニットの黒線をカーナビのステー（金属部分）に共締めしてください
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

ホンダ車は下表の接続位置へ桃線を接続します。コネクタ図は次項以降を参照

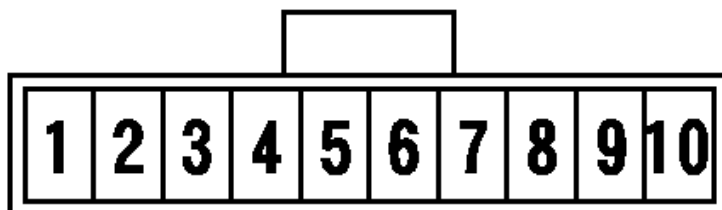
車種	車両形式	適用1	適用2	適用3	接続位置	極数	ピン位置	配線色	図
CR-V	RE3/RE4	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
CR-V	RE3/RE4	NAV無し	-	-	オーディオユニット	20極	7番	桃	B
S2000	AP2	-	SEEK UPのみ設定すること	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
インスパイア	UC1	-	プレミアムサウンド装着車	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
インスパイア	UC1	-	プレミアムサウンド無し車	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
インスパイア	CP3	MOPナビ	-	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
インスパイア	CP3	NAV無し	-	-	オーディオユニット	24極	16番	桃	D
インスパイア	ZE2 2009.2	MOPナビ	-	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
エアウェイブ	GJ1/GJ2	MOPナビ	マルチマチック装着車	-	AVNユニット	20極	3番	緑/赤	C
エアウェイブ	GJ1/GJ2	MOPナビ	マルチマチック無し車	-	AVNユニット	20極	3番	緑/赤	C
エアウェイブ	GJ1/GJ2	NAV無し	マルチマチック装着車	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
エアウェイブ	GJ1/GJ2	NAV無し	マルチマチック無し車	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
エディックス	BE1/BE2/BE3/BE4	MOPナビ	-	-	NAVディスプレイユニット	30極	24番	橙	E
エディックス	BE1/BE2/BE3/BE4	NAV無し	-	-	オーディオユニット	10極	9番	橙	A
エディックス	BE3/BE4/BE8	MOPナビ	-	-	NAVディスプレイユニット	30極	24番	橙	E
エリシオン	RR1/RR2/RR3/RR4/RR5/RR6	MOPナビ	-	-	NAVディスプレイユニット	30極	24番	緑/赤	E
エリシオン	RR1/RR2/RR3/RR4/RR5/RR6	NAV無し	-	-	オーディオユニット	20極	3番	緑/赤	C
オデッセイ	RB1/RB2	MOPナビ	プレミアムサウンド装着車	クルコン付き	NAVディスプレイユニット	30極	24番	若草	E
オデッセイ	RB1/RB2	MOPナビ	プレミアムサウンド装着車	クルコン無し	NAVディスプレイユニット	30極	24番	若草	E
オデッセイ	RB1/RB2	MOPナビ	プレミアムサウンド無し車	クルコン付き	NAVディスプレイユニット	30極	24番	若草	E
オデッセイ	RB1/RB2	MOPナビ	プレミアムサウンド無し車	クルコン無し	NAVディスプレイユニット	30極	24番	若草	E
オデッセイ	RB1/RB2	NAV無し	プレミアムサウンド装着車	クルコン付き	オーディオユニット	20極	3番	若草	C
オデッセイ	RB1/RB2	NAV無し	プレミアムサウンド装着車	クルコン無し	オーディオユニット	20極	3番	若草	C
オデッセイ	RB1/RB2	NAV無し	プレミアムサウンド無し車	クルコン付き	オーディオユニット	20極	3番	若草	C
オデッセイ	RB1/RB2	NAV無し	プレミアムサウンド無し車	クルコン無し	オーディオユニット	20極	3番	若草	C
オデッセイ	RB3/RB4	MOPナビ	-	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
オデッセイ	RB3/RB4	NAV無し	-	-	オーディオユニット	24極	16番	桃	D
クロスロード	RT1/RT2/RT3/RT4	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
シビック	FD1	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
シビックハイブリッド	FD3	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
ステップワゴン	RG1/RC2/RC3/RC4	MOPナビ	-	IHCC 装着車	NAVユニット	20極	17番	橙	C
ステップワゴン	RG1/RC2/RC3/RC4	MOPナビ	-	IHCC 無し車	NAVユニット	20極	17番	橙	C
ステップワゴン	RG1/RC2/RC3/RC4	NAV無し	-	CVT車	オーディオユニット	20極	3番	橙	C
ステップワゴン	RG1/RC2/RC3/RC4	NAV無し	-	AT車	オーディオユニット	20極	3番	橙	C
ステップワゴン/同スバーダ	RK1/RK2/RK5/RK6	MOPナビ	マルチメディアカメラ装着車	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
ステップワゴン/同スバーダ	RK1/RK2/RK5/RK6	MOPナビ	マルチメディアカメラ無し車	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
ストリーム	RN6/RN7/RN8/RN9	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
ストリーム	RN6/RN7/RN8/RN9	NAV無し	-	-	オーディオユニット	20極	7番	桃	B
ゼスト	JE1/JE2	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	桃	F
フィット	GD1/GD2/GD3/GD4	MOPナビ	-	-	AVNユニット	32極	13番	緑/赤	F
フィット	GE6/GE7/GE8/GE9	MOPナビ	-	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
ライフ	JC1/JC2	MOPナビ	-	-	AVNユニット	24極	16番	桃	D
レジェンド	KB1	-	-	-	オーディオユニット	20極	3番	橙	C
レジェンド	KB2	-	-	-	AVNユニット	24極	16番	橙	D

MEMO

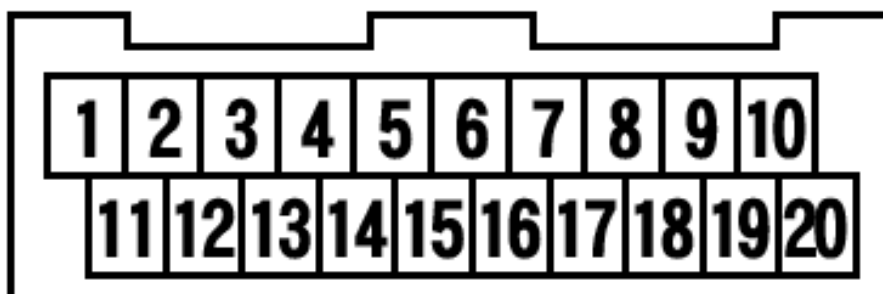
A series of horizontal dashed lines for writing.

ホンダ車カプラ図

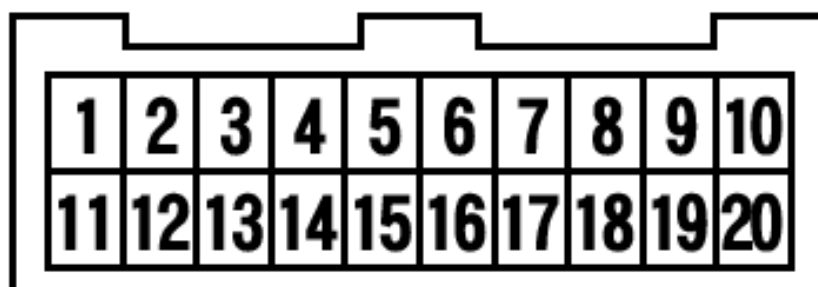
カプラ図 A



カプラ図 B



カプラ図 C

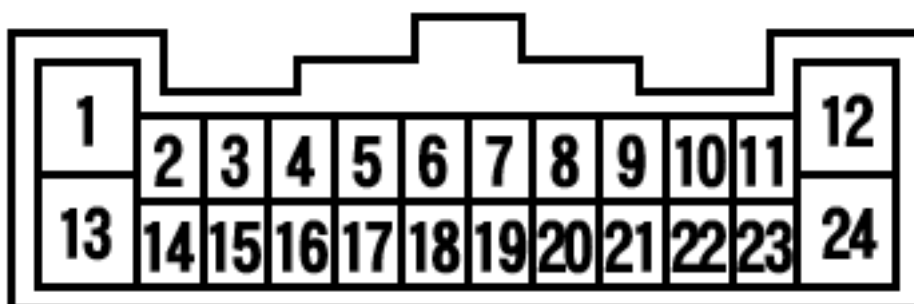


MEMO

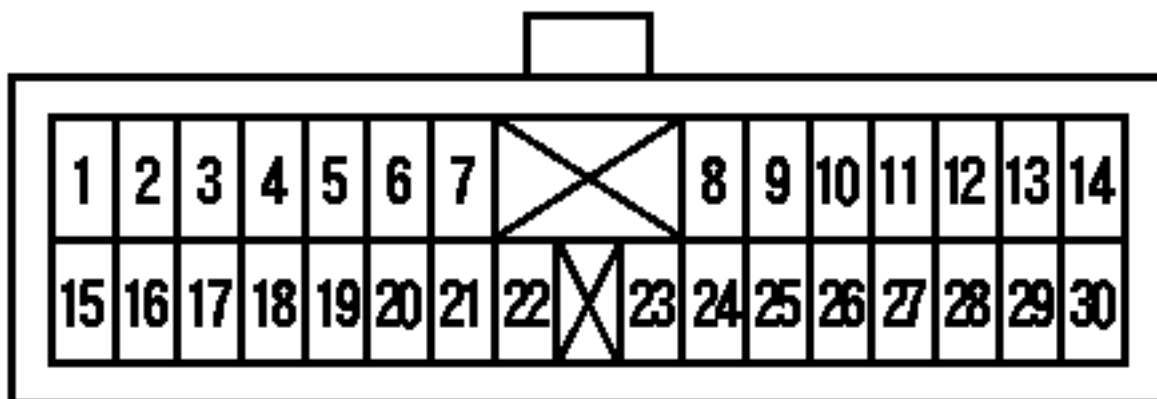
- ※上記はオーディオコネクタを配線が出ている側から見た図です。
- ※ユニットの赤線はアクセサリ電源に接続してください。
- ※ユニットの黒線はボデーアースしてください。

ホンダ車カプラ図

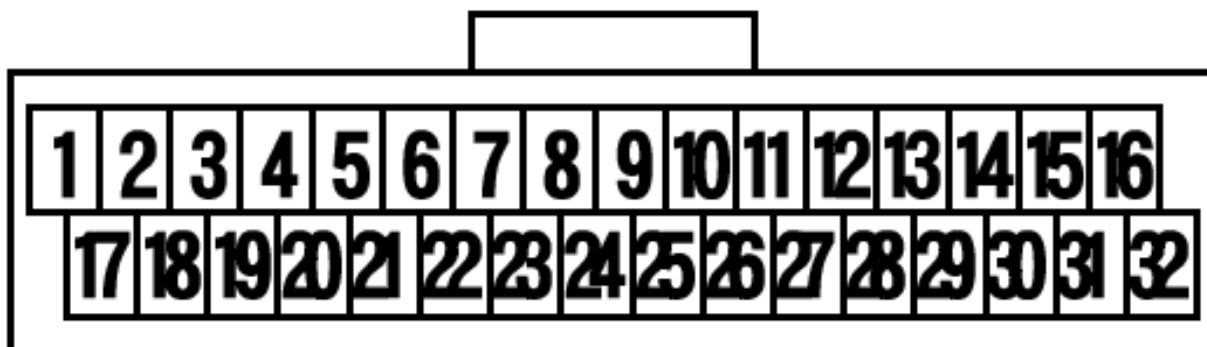
カプラ図 D



カプラ図 E



カプラ図 F



MEMO

- ※上記はオーディオコネクタを配線が出ている側から見た図です。
- ※ユニットの赤線はアクセサリ電源に接続してください。
- ※ユニットの黒線はボデーアースしてください。

切り替えスイッチ（GAQ-FSW12・別売）接続方法

地デジチューナー視聴時にステアリングスイッチの「シークプラス」「シークマイナス」が無効になっていない場合や、基本接続では純正ナビが誤作動してしまう場合に、切り替えスイッチを取り付けます。

※作業前に「取付けの流れ」を参照し、スイッチ取り付けが必要か否かを確認してください

※三菱車では切り替えスイッチが認識できない場合があります

1. 基本接続を行う

基本接続が完了していない場合は、先に基本接続を行ってください。

2. 本製品の桃線を外す

既に接続している桃線を一旦外します。

3. 車両のステアリングスイッチ線を切断する

桃線を接続していた車両側のステアリングスイッチ信号線を切断します。

4. アルコンの配線を加工する

アルコンの桃線に黄線を接続します。

5. 切り替えスイッチを接続する

次ページを参照して切り替えスイッチを接続します。

6. 初期設定を行う

後付け地デジチューナーのリモコンを使用して初期設定を行います。

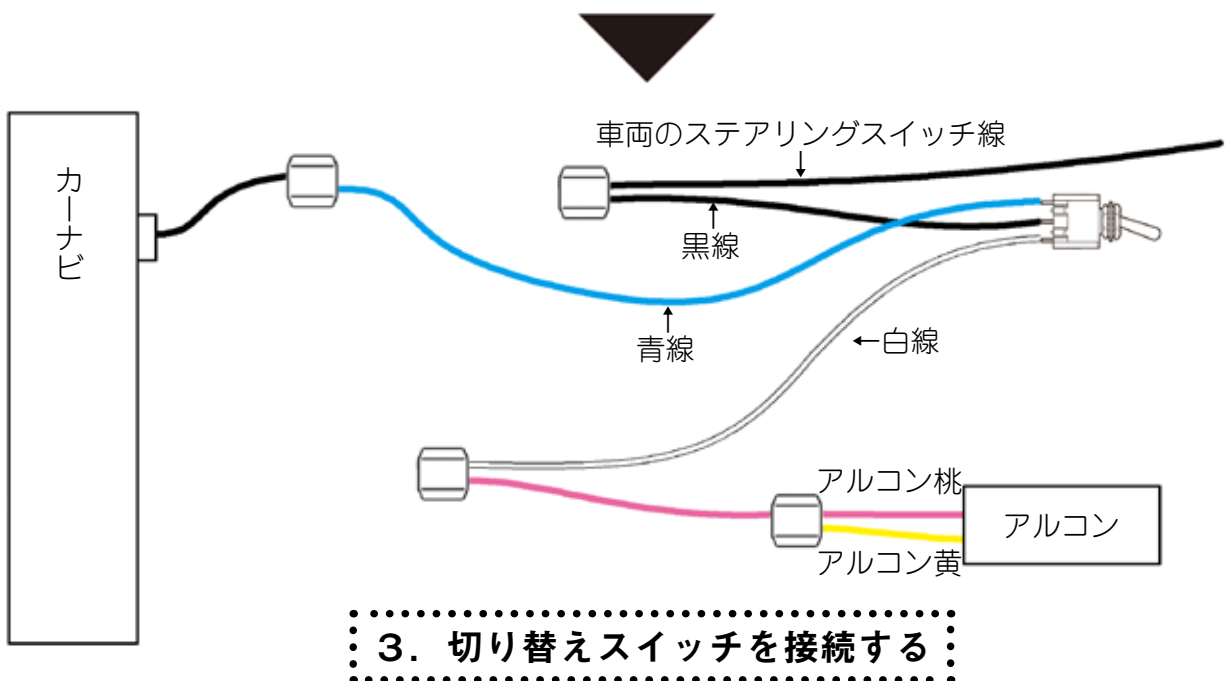
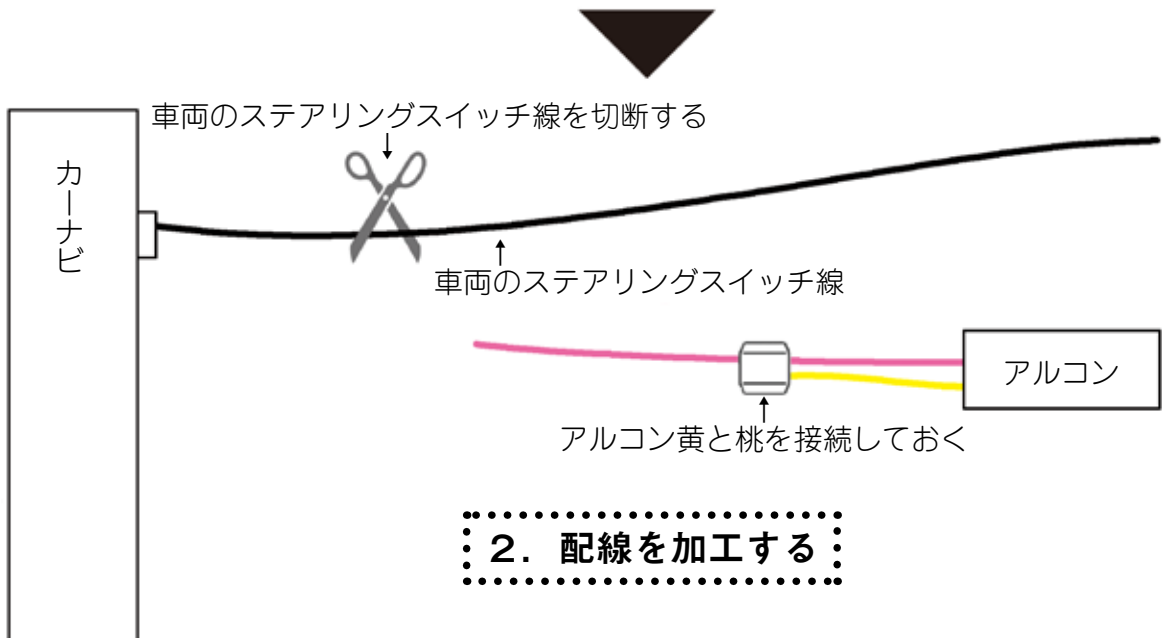
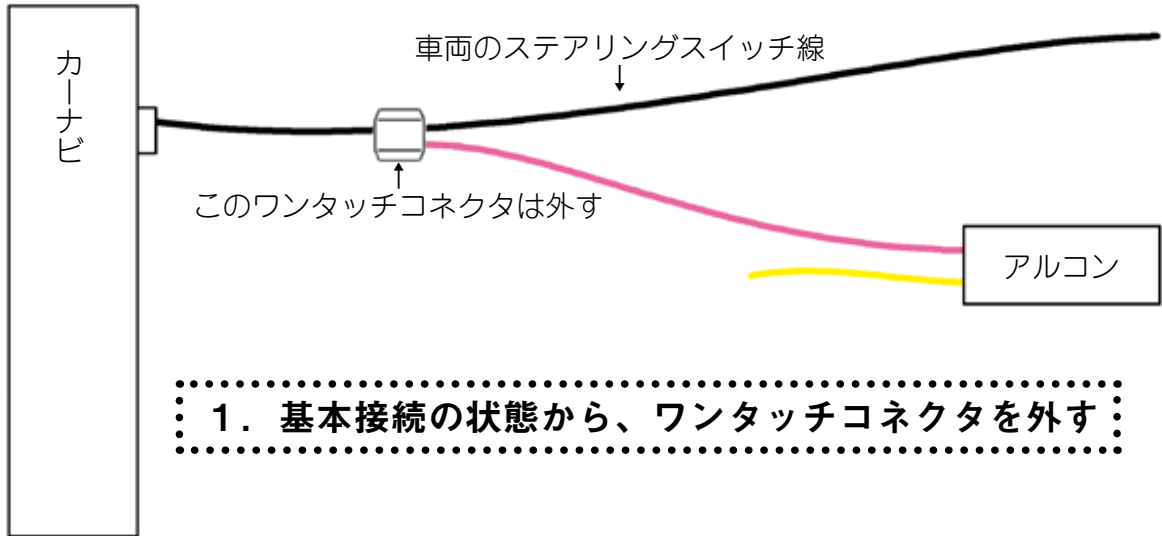
※初期設定時は、ユニット本体にあるセンサーにリモコン信号を送信する必要がありますので、本体を収納してしまう前に行ってください。

MEMO

※配線の色をよく確認して接続を行ってください。

※添付のワンタッチコネクタ以外を使用される場合は、適合線径をよく確認してください。

切り替えスイッチ（GAQ-FSW12・別売）接続方法



LEDの設置位置は十分ご検討ください

本ユニットは黒 / 黒灰コード先にある「赤外線 LED」部から赤外線リモコンと同じ「光」信号を出力し、カーナビ / カーオーディオを操作しています。赤外線 LED は視野角が狭く、ご家庭でテレビのリモコンを操作するときのように、操作の対象となる機器に向けないと動作しなかったり反応が鈍くなったりしますので、**設置位置 / 角度は十分検討してください。**

MEMO

※赤外線 LED が出力している光は目に見えません。カメラには映りませんので、実際に視野角を目視で確認するには、デジカメか携帯電話のカメラの液晶ファインダーで確認してください。

※赤外線は反射する時に大きく減衰します。設置位置は次のポイントに注意してください。

1. 操作の対象となる機器の間に遮蔽物しゃへいが無いこと

2. なるべく直接光で操作できる設置を選択すること

■カーナビ横の隙間を埋めるパネル等、操作の対象となる機器が極近くにある場合は反射光や側光でも十分操作可能です。この場合は付属の LED 固定部品は使用しないでください。

3. 添付の LED 固定部品を使用すると、LED の頭の部分が固定部品に少し埋まるため指向特性が更になり狭くなりますので、ご注意ください

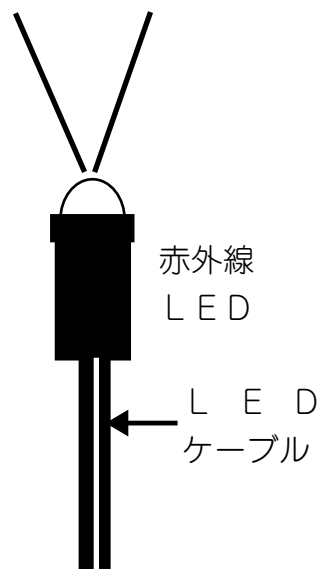
○取付け位置の例 1 : ナビの隙間を埋めるサイドパネル (トヨタ車)

○取付け位置の例 2 : 上部ルームランプ (マップランプ) に埋め込み

×インパネ部のスイッチブランク ⇒ 場合により操作できない

×ハンドルコラムカバー部 ⇒ 腕により光信号が遮光される

指向特性は約 30 度です



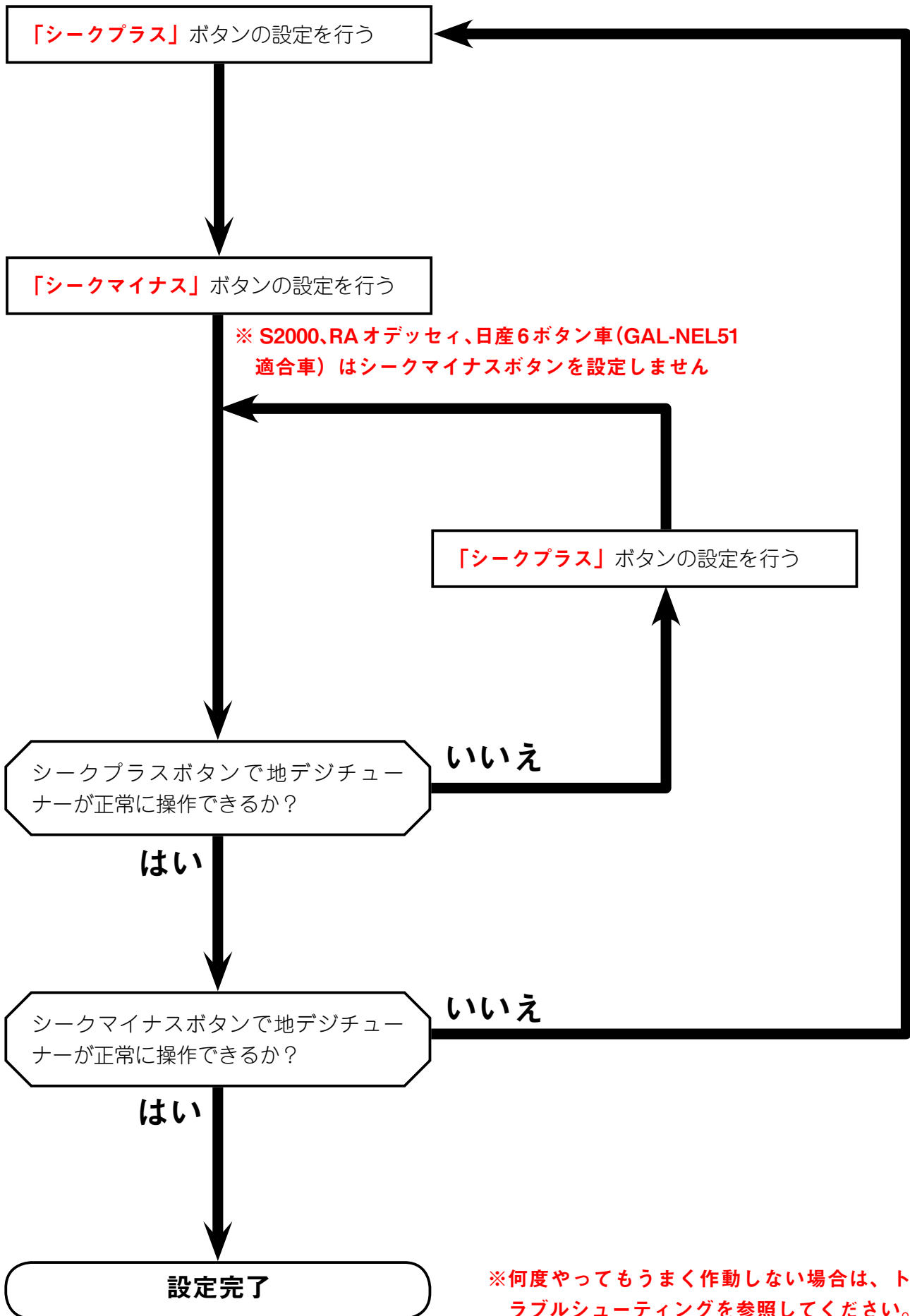
設置後の確認

- ◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したらキーを差し込み、**ステアリングスイッチを押さずにACC電源をON**にします。このとき、本体基板上の赤色LEDが点滅⇒点灯することを確認してください。
- ◇ステアリングスイッチを操作し、従来通り純正ナビが操作できることを確認してください。
- ◇続いて初期設定を行います。ユニット本体は**初期設定が完了するまでは手元に引き出しておいて**ください。
 - ※設定内容をたびたび変更する可能性がある場合は、ユニット本体を「いつでも見える場所」や、「容易に引き出せる場所」に設置してください。
- ◇初期設定が終わったら、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープ等で固定してください。ビニールテープ等をあまり強く巻きついたり、カーナビ本体と干渉する位置取り付けたりしないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。
- ◇赤外線LED部は後付け地デジチューナーの赤外線受光部へ向けて設置します。
 - ※赤外線LEDは指向性が高い性質があります。真正面以外では信号が大きく減衰しますので、**なるべく受光部へ向けた状態で設置してください。**

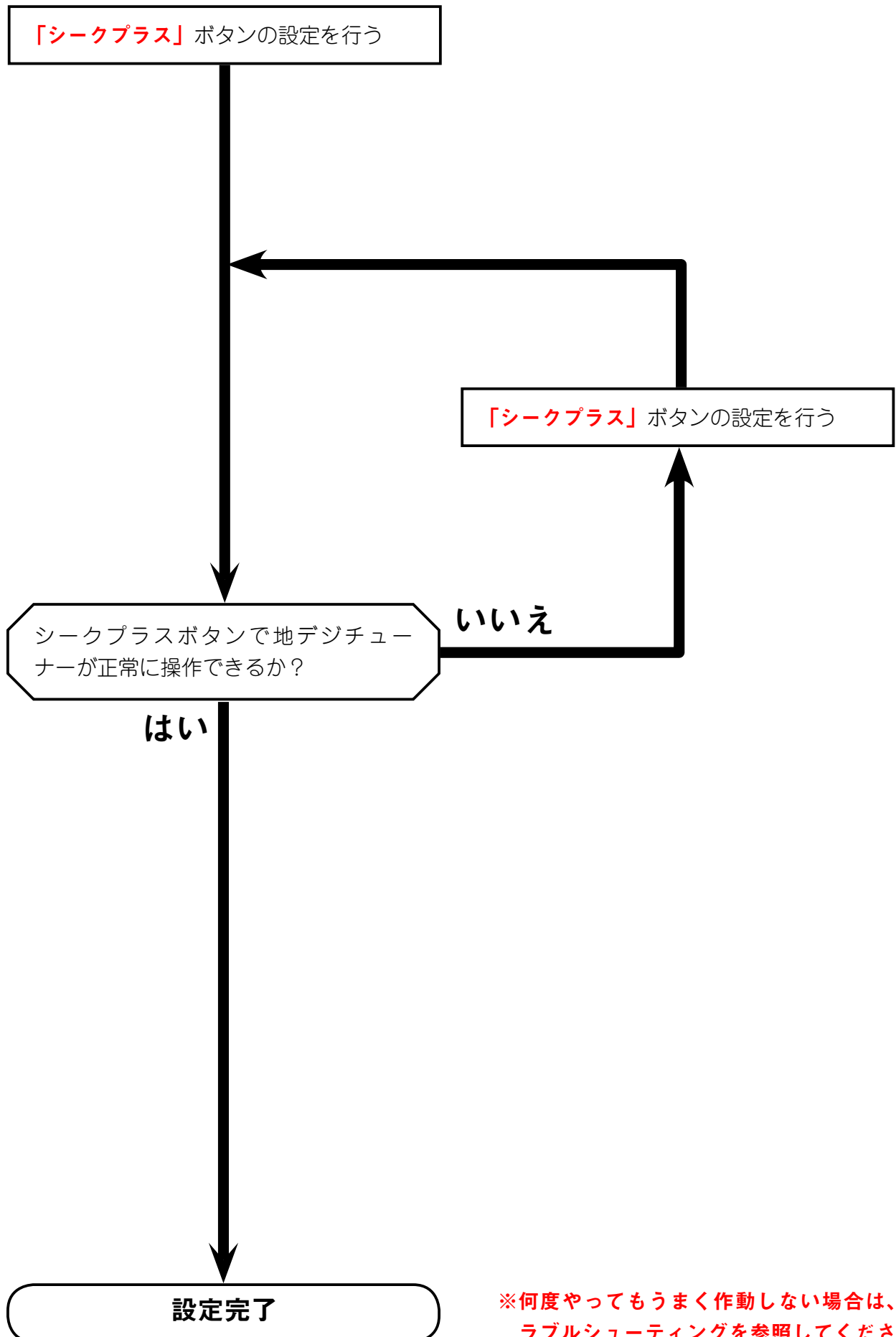
MEMO

※赤外線LED部の熱収縮チューブ部分は無理な力をかけたり、大きく曲げたりしないでください。赤外線LED内部が断線し、故障の原因となります。

設定作業の流れ (2 ボタンの場合)



設定作業の流れ（1 ボタンの場合）※ S2000、RA オデッセイ、日産 6 ボタン車（GAL-NEL51 適合車）



※何度やってもうまく作動しない場合は、トラブルシューティングを参照してください。

設定方法

シークプラス⇒シークマイナスの順に設定を行ってください。

設定モードに入る為には、ステアリングスイッチの「トリガーボタン」を押しながら ACC 電源を ON にします。

※「トリガーボタン」はメーカーにより異なり、下表のようになっています

車両メーカー	トリガーボタン
トヨタ／ダイハツ／レクサス	シークプラス
ホンダ	音量ダウン
マツダ	音量ダウン
スズキ	ミュート
日産 8 ボタン (GAL-NC25N 適合車)	SOURCE
日産 6 ボタン (GAL-NEL51 適合車)	MODE(SOURCE)

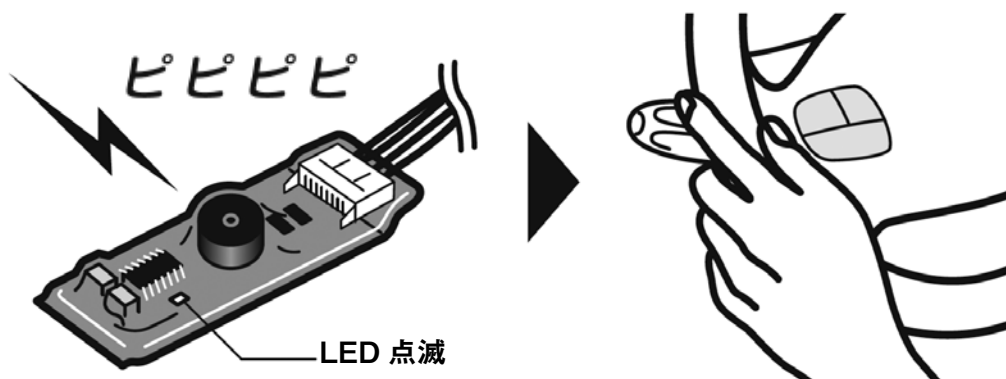
1

ステアリングスイッチの「トリガーボタン (上図参照)」を押しながらキーを ACC に廻します (プッシュスタート式の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを押します)。



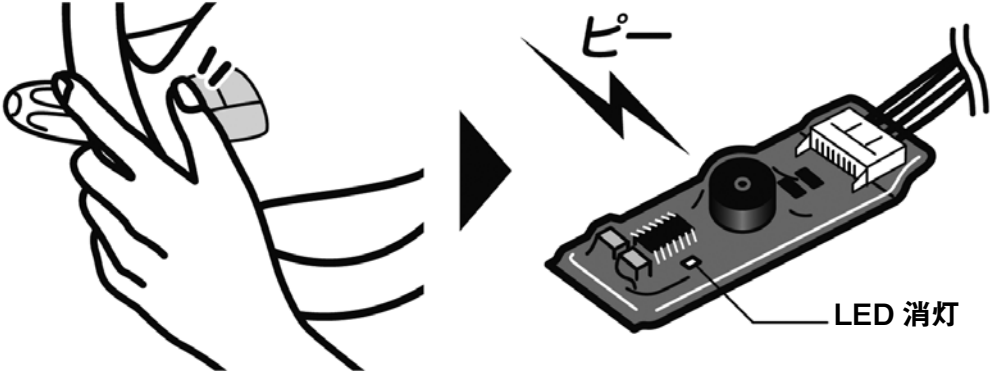
2

「ピピピピ…」と断続音が鳴り、本体の赤色 LED も点滅したらステアリングスイッチのトリガーボタンを離します。



設定方法（続き）

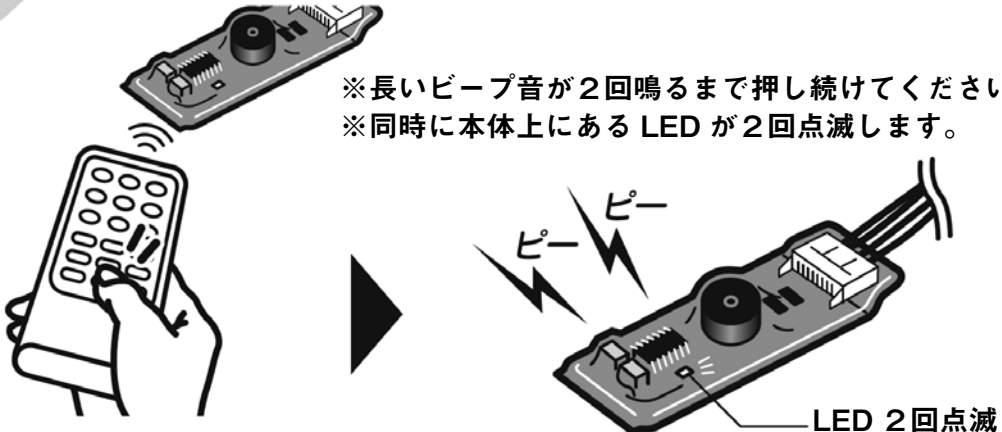
3 10秒以内にステアリングスイッチの設定したいボタン（シークプラス又は、シークマイナス）を押します。ユニットから長いビープ音が1回鳴り、本体の赤色LEDが消灯すればステアリングスイッチのボタンを離します。



LED 消灯

4 10秒以内に本体上にある受光部へ地デジチューナーの赤外線リモコンを向けて、学習させたいボタンを押します。


※長いビープ音が2回鳴るまで押し続けてください。
※同時に本体上にあるLEDが2回点滅します。



LED 2回点滅

5 地デジチューナーの赤外線リモコンから一旦指を離し、再度同じボタン（地デジチューナーの赤外線リモコンのボタン）を押します。

※長いビープ音が3回鳴るまで押し続けてください。

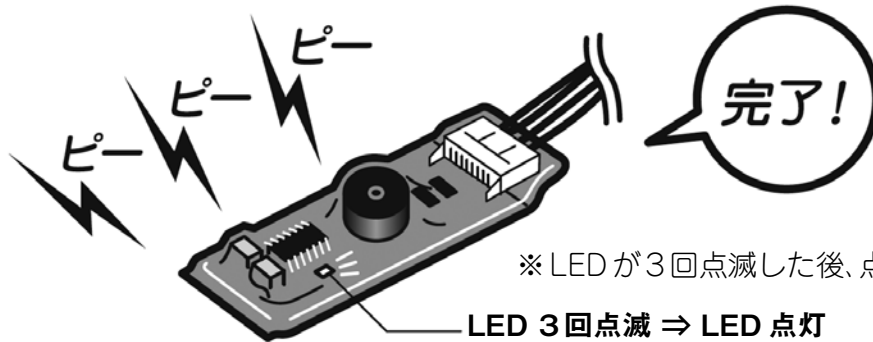


設定方法（続き）

6

以上で学習作業は完了です。学習作業はステアリングスイッチの「シークプラス」「シークマイナス」の順に行ってください。

※「シークプラス」ボタンを学習させた後は、キーを一旦 OFF にしてから「シークマイナス」の設定を行ってください。



※LEDが3回点滅した後、点灯します。

LED 3回点滅 → LED 点灯

◇学習が終了したら赤外線LEDを地デジチューナーの受光部へ向け、ステアリングスイッチを押すと操作できることを確認してください。

※学習時にあまりユニットとリモコンを近づけないでください。ユニットとリモコンは10cm以上離して学習してください。

※短いピープ音が5回鳴った場合は学習失敗です。トラブルシューティングを参照して原因を特定してください。

※手順4でリモコンのボタンを押してもピープ音が鳴らない場合は、リモコンのボタンを一旦離し、再度同じボタンを押してください。

※「シークプラス」ボタンを学習させたあと、次に「シークマイナス」ボタンを学習させてください。

※RAオデッセイ・S2000、日産6ボタン車（GAL-NEL51 適合車）の場合は「シークプラス」ボタンのみ学習させてください。

※「シークマイナス」ボタンを学習させると「シークプラス」ボタンの学習設定が消去されてしまう場合は、もう一度「シークプラス」ボタンのみ学習させてください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

トラブルシューティング

ステアリングスイッチを押さずに ACC をオンにすると学習モードになる

1. 桃線の接続先・接触不良を確認してください。配線接続に問題が無ければ、切り替えスイッチの取り付けを行ってください。※三菱車では切り替えスイッチが認識できない場合があります

ステアリングスイッチの1ボタンのみしか学習できない

1. もう一度「シークプラス」ボタンから設定作業を行ってください。
2. RA オデッセイ・S2000、日産 6 ボタン車（GAL-NEL51 適合車）の場合は、「シークプラス」ボタンのみ設定作業を行ってください。

ステアリングスイッチを押すとカーナビと地デジチューナーの両方が作動する

1. カーナビを地デジ画面にした場合、ステアリングスイッチの「シークプラス」と「シークマイナス」ボタンが無効にならない機種では、切り替えスイッチの取り付けを行ってください。※三菱車では切り替えスイッチが認識できない場合があります
2. 「シークプラス」ボタン、「シークマイナス」ボタン以外のボタンに設定を行ってしまった場合は、もう一度「シークプラス」ボタンと「シークマイナスボタン」のみ設定を行ってください。

学習が失敗する（短い音が5回鳴って失敗する場合）

1. 本ユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？本体を手元に取り出して、学習作業を行ってみてください。
2. 学習時に地デジチューナーの赤外線リモコンを向ける先を間違っていないですか？**地デジチューナーの赤外線リモコンは本ユニット本体に向けて**操作してください。もし、本ユニット本体の設置が完了しており、目視できない位置にある場合は再度取り出してから学習してください。
3. 学習作業を行う際に時間がかかっていませんか？学習操作をして長いブープ音が鳴ってから10秒以内に赤外線リモコンを操作しないと、ブープ音が5回鳴って学習モードが終了します。その場合は10秒以内に学習させるようにしてください。
4. 学習手順を間違っていないですか？学習時に学習させたい赤外線リモコンのボタンを押すタイミングで間違えてステアリングスイッチのボタンを押すと学習できません。押す手順は「**ステアリングスイッチ**」⇒「**地デジチューナーのリモコン**」⇒「**地デジチューナーのリモコン**」です。

トラブルシューティング

学習が失敗する（リモコンのボタンを押しても長いビープ音が鳴らない場合）

1. LEDのフットランプ等が近くにありませんか？
LEDのランプはパルス制御で光量制御しているものが多く、赤外線リモコンと干渉します。学習時にはLEDのランプ類は消灯しておいてください。
2. カーナビ等の液晶画面の光が直接ユニット本体にあたっていますか？
一部のカーナビの液晶画面に使用されているバックライトが学習作業時の赤外線信号に悪影響を及ぼすことが確認されています。液晶画面の光の影になるような位置にユニット本体を置き、再度学習作業を行ってください。
3. すべて確認しても学習が失敗するときはそのリモコンを学習することができない可能性があります。
※海外製の地デジチューナーは学習できない場合があります。

学習が失敗する（正常に学習が完了するが、機器を操作できない場合）

1. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が多数ありませんか？
コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

ステアリングスイッチでカーナビを操作しても反応が鈍い

1. 日中に反応が鈍くなる場合は、赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。
2. いつも反応が鈍い場合は赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。赤外線LEDを手で持って直接カーナビに向けてステアリングスイッチを操作しても反応が鈍い場合は、リモコン信号の学習に失敗しています。コード類の奥にユニット本体を設置すると、学習時に赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

純正ナビが従来通り操作できない

1. ステアリングスイッチで従来通り純正ナビを操作できなくなった場合は、配線の接続が間違っている可能性があります。もう一度確認を行ってください。解消しない場合は切り替えスイッチを取り付けてください。

※三菱車では切り替えスイッチが認識できない場合があります

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GPS-MULT07	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南 3 丁目 7-11 電話 06-6131-6300